

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(9/14)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区(徳島県)	正	3.7	4.0 進捗度 医師不足対策の推進 ・寄附講座の設置 100% ・医師修学資金貸与者数 100% 糖尿病対策の推進 ・栄養指導導入医療機関数 100% ・糖尿病連携手帳を活用している医療機関数 100% 外国人宿泊者数 71%	3.4 規制の特例等「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い 財政支援等寄附講座設置事業 医師修学資金貸与事業 等 地域独自の取組 とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援 等	3.6	<p>・全体として順調な進捗状況であると評価でき、県独自の取組についても積極的な姿勢は評価するが、本特区の目標に掲げる課題は地域の重要課題であり、地域独自の支援をより強化する必要がある。</p> <p>・全国的に医師の地域偏在が見受けられる中、病院における専門医療をサポートするための医学部寄附講座開設や、地元に残る医師を育成するための修学資金の貸与等は医師の偏在を解決するために効果があると考えられ評価できる。</p> <p>・「糖尿病克服モデル」を国内外でリードすることを目指す事業としては、やや先進性に欠ける。</p> <p>・外国人宿泊者数については、地域医療との関連が不明確であり、目標にも未達だが、数自体は大きく伸びてきており、一層の拡大への努力を期待する。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。